

防衛_{vol.60} 北海道

目次

- 米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練 …… 2～3
- 「絆」～八雲町と八雲分屯基地の紹介～ …… 4～5
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために …… 6
- 次期政府専用機施設が完成しました …… 7
- 公共工事の入札及び契約の適正化を図るために
～入札監視委員会の実施～ …… 7
- 前北海道防衛局入札監視委員会委員に対する感謝状贈呈 …… 8
- より優れた品質の防衛施設の整備に向けて
～優秀工事等に顕彰状授与～ …… 8
- 北海道防衛局幹部紹介（8月3日付け） …… 9
- 平成30年度自衛官等募集案内 …… 9
- 北海道防衛局からのお知らせ …… 10



米海兵隊による155ミリりゅう弾砲実弾射撃訓練



米海兵隊による

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練

平成30年8月1日から8月8日までの間、陸上自衛隊矢臼別演習場において、沖縄県に駐留する米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練が、実施されました。

この訓練は、以前、米海兵隊が沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて県道104号線を通行止めにして155ミリりゅう弾砲の実弾射撃訓練を行っていましたが、沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場（矢臼別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場）において分散・実施しているもので、矢臼別演習場での訓練は、昨年引き続き、17回目となります。

北海道防衛局は、訓練の円滑な実施及び事故防止に万全を期すとともに、地元の方々に安心していただけるよう、訓練部隊が演習場に到着した7月24日から同地を離れた8月18日までの間、同演習場内に「現地対策本部」（本部長：辻吉巳企画部長）を設置し、訓練部隊への支援や自治体等への情報提供、演習場周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための支援を行いました。

7月26日～27日 米海兵隊本隊及び物資・車両輸送



矢臼別演習場に到着した米海兵隊



釧路港から矢臼別演習場へ車両輸送

7月29日～30日 米海兵隊消火訓練及び緊急患者搬送訓練



消火訓練



緊急患者搬送訓練

7月31日 米海兵隊及び北海道防衛局による訓練説明会を開催

本訓練について地元の方々にご理解をいただくため、訓練説明会を開催しました。この説明会には地元町議会、地元自治体、地元住民及び報道機関の約40名が参加しました。

米海兵隊から第12海兵連隊第3大隊のロビンソン大隊長、当局から辻企画部長が出席し、訓練の目的や概要等について説明を行いました。



8月1日 ロビンソン大隊長が地元4町を表敬訪問

ロビンソン大隊長は、地元4町（別海町、浜中町、厚岸町、標茶町）を表敬訪問しました。

同大隊長は、「地元の理解を得て、北海道防衛局、陸上自衛隊の支援を受けて安全に訓練を行っていきたい。」と伝えました。



別海町長表敬



別海町で報道機関のインタビューに応じる大隊長

8月3日 米海兵隊による訓練見学会を開催



米海兵隊による説明を受ける参加者

米海兵隊は、見学会において、正確かつ安全な射撃を行うための各手順ごとに複数の隊員が確認しながら行っていることを実演し、最後に155ミリりゅう弾砲による実弾射撃を行いました。

8月11日～12日 米海兵隊によるボランティア活動などを実施

米海兵隊は射撃訓練終了後、別海町内の別海町コミュニティセンターを訪れ、清掃等のボランティア活動を行いました。

また、演習場周辺地域を訪れ、地元の歴史や文化にも触れました。



ボランティア活動



乳しぼり体験

8月15日～18日 米海兵隊が矢臼別演習場から帰沖

装備品や人員を輸送し、8月18日をもって本訓練の全日程が無事終了しました。



「絆」



噴火湾パノラマパーク

八雲町は、

渡島半島北部に位置する「太平洋と日本海 日本で唯一、二つの海をもつ町」です。太平洋側の八雲地域は尾張徳川の歴史、日本海側の熊石地域は松前藩の歴史があり、同じ町でも異なる歴史文化が存在する町です。

二つの海の恵みから漁業も盛んであり、太平洋側ではホタテ、ボタンエビ、日本海側ではアワビが水揚げされ、また、牧歌的な風景と乳製品も道内外の観光客から人気があります。

道南北部地域の中心都市として、医療機関や商業施設等の都市機能がコンパクトに整備されている一方、市街地から数キロ足を伸ばすと天然記念物のオジロワシやオオワシが観察できるなど多様な自然と都市の利便性が共存する「ちょうどいい田舎」です。

噴火湾が一望できる道立公園「噴火湾パノラマパーク」は、なだらかな丘陵につくられた62.7haの公園で、アスレチック遊具やパークゴルフ場などもあり、子どもからご年配の方まで楽しむことができる施設がいっぱいです。

熊石青少年旅行村は宿泊施設があり、夏には家族連れで賑わいます。また、町内には温泉地が点在しており、料理自慢の情緒豊かな温泉宿があります。

北海道木彫り熊発祥の地として多くの作品を展示する木彫り熊資料館を始め、徳川義親公の銅像など八雲町の歴史を肌で感じることもできる名所が多くあります。

また、梅村庭園は八雲町指定文化財や北の造園遺産に認定されています。



熊石あわびの里フェスティバル

熊石の食を堪能できる「熊石あわびの里フェスティバル」や北海道三大あんどん祭りの一つ「八雲山車行列」、100メートルの氷の滑り台が楽しめる「八雲さむいべや祭り」をはじめ、四季折々の八雲を味わい、体験できる多様なイベントが開催されています。



梅村庭園



八雲山車行列

【総合計画・今後の展望】

町の将来像を示した第2期八雲町総合計画では、「八雲発！自然と人を未来へつなぐ」をスローガンに、安心して子育てができる環境の充実を図るため、学校給食費の無料化や保育料の軽減、医療費助成などの支援を行っています。

今後も自然豊かな町として、農業・漁業のさらなる発展と、2030年度の北海道新幹線駅の開業を見据えた産業・経済・ひとが活発で笑顔あふれる町になるよう取り組みを進めていきます。

八雲町



〒 049-3192
二海郡八雲町住初町138
電話 0137-62-2111 (代表)
<http://www.town.yakumo.lg.jp/>



八雲町長 岩村 克詔

自衛隊との関わり

日頃より町内イベントへの参加および運営協力、防災事業への参画・危機管理や防災対策の推進、安心・安全なまちづくりにご尽力いただいています。さらに、町民との各種交流など様々な活動を通して地域の活性化にご貢献をいただいています。

航空自衛隊八雲分屯基地は、

昭和18年の陸軍飛行場建設に始まり、米軍駐留、航空自衛隊への移管を経て、昭和52年に航空自衛隊の高射部隊で唯一、滑走路を保有する分屯基地となりました。その後、幾つかの改編を経て、現在は、第20高射隊及び第23高射隊が所在しております。親部隊は三沢基地（青森県三沢市）に所在する第6高射群で、我が国に侵攻する航空機や弾道ミサイルに対処すべく、昼夜を問わず日々厳しい訓練を行い、部隊の精強化に努めております。

八雲分屯基地



八雲さむいべや祭り

今後とも、当分屯基地は基地開庁記念行事を通じて、自衛隊へのご理解を深めていただくとともに、八雲町で行われる「八雲山車行列」や「八雲さむいべや祭り」等への参加を通じて、地域の方々に自衛隊を身近なものと感じていただけるよう努めてまいります。



開庁記念行事

防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～道路改修事業の紹介～

防衛施設周辺の道路においては、自衛隊等の車両の頻繁な通行により、道路の路面や路床などが損傷したり、一般車両とのすれ違いに支障をきたすなどの障害や周辺交通への影響が生じたりすることがあります。

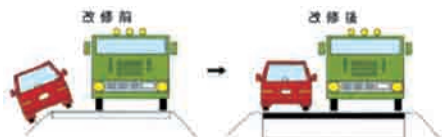
防衛省は、こうした障害を防止又は緩和するために地方公共団体が必要な工事を実施するときは、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、その工事に要する費用の全部又は一部を補助しています。

矢臼別演習場周辺中西別上風連線改良舗装事業（別海町）

今回は、平成29年度に実施した別海町の道路改修事業を紹介します。

中西別上風連線は、矢臼別演習場への経路として自衛隊等の大型車両が頻繁に通行しています。このため、一般車両とのすれ違いに支障をきたしたり、路面の損傷が著しい状況であったことから、これらの障害を緩和するため、平成27年度から本路線の拡幅や舗装工事を計画的に実施しています。

障害の状況



離合困難：通行車両により、道路交通に障害が認められる場合、車道の拡幅、改良及び舗装を実施。



路面の損傷：通行車両により、路面が損傷し、通常の維持が困難な場合、舗装の補修を実施。

改修前



改修後

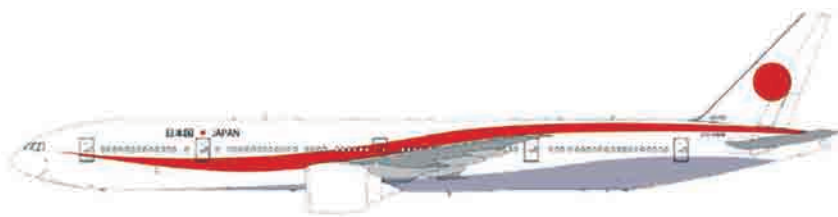


次期政府専用機施設が完成しました

次期政府専用機（B777-300ER型機）の導入に向けた、政府専用機格納庫の改修工事及びパイロットの訓練施設（フライトシミュレーター施設）新設工事が平成30年7月に完成しました。

本工事は、総工事費約14.7億円（格納庫改修約11.3億円、訓練施設新設約3.4億円）をかけて、格納庫の床舗装打換え、大扉改修等の工事及び訓練施設の新設を行ったものです。

次期政府専用機は、平成31年4月から2機運航予定とされており、うち1機が平成30年8月17日に千歳基地に到着、残り1機は12月に配備される予定です。



新設した訓練施設

【航空機諸元（参考）】
B777-300ER
全長：73.9m
全幅：64.8m
全備重量：約350t
タイヤ数：前2、後12



改修した政府専用機格納庫



LED化した屋内電灯設備



一部打換えした床舗装

公共工事の入札及び契約の適正化を図るために ～ 入札監視委員会の実施 ～

平成30年6月28日、北海道防衛局において、平成30年度第1回北海道防衛局入札監視委員会が開催されました。

当委員会は、様々な分野の学識経験等を有する第三者の委員で構成され、北海道防衛局及び帯広防衛支局が発注する建設工事等及び北海道内に所在する自衛隊等が実施する入札及び契約について、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するため、四半期毎に年4回開催されています。

今回は、平成30年1月から3月までに契約した北海道防衛局及び帯広防衛支局の建設工事等の事案及び平成29年度に契約した陸上自衛隊の調達事案について様々な視点・角度から審議が行われました。

北海道防衛局としては、このような第三者である入札監視委員会での審議を通じ、引き続き、入札及び契約の適正化に努めてまいります。

なお、審議結果については、当局情報公開室での閲覧又は当局ホームページにて公表しています。

北海道防衛局ホームページ 入札・契約情報『入札監視委員会』
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



入札監視委員会での審議の様子

前北海道防衛局入札監視委員会委員に対する感謝状贈呈

平成30年6月28日、木下均前北海道防衛局入札監視委員会委員に黒田総務部長から感謝状を贈呈しました。

木下氏は、7年間もの永きに亘り北海道防衛局入札監視委員会委員として在任され、専門的な見識のもと貴重なご意見をいただき、北海道内の防衛省・自衛隊における契約の透明性の確保に大きく貢献されました。



より優れた品質の防衛施設の整備に向けて ～優秀工事等に顕彰状授与～

帯広防衛支局は平成30年7月17日、また、北海道防衛局は7月24日に、それぞれ優秀工事等の顕彰状授与式を実施しました。

本顕彰制度は、平成21年度から実施しており、北海道防衛局及び帯広防衛支局が発注した建設工事等に関し、工事等目的物の出来形や品質が優れている工事等であって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として選定し顕彰するものです。

今年度は、平成29年度に完成した建設工事等の中から、北海道防衛局においては、4件の工事及び2名の技術者並びに1件の業務及び1名の技術者を選定し、儀保忠光調達部長から、帯広防衛支局においては、1件の工事及び1名の技術者を選定し、後藤英人支局次長から、それぞれ顕彰状を授与しました。

優秀工事等の顕彰状受賞者は、本年度を含む4年間、総合評価方式による工事等の入札時に、企業の技術力を評価する項目の一つとして評価点が加点されます。

北海道防衛局及び帯広防衛支局は、今後とも、受注者の方々が豊富な経験や技術力を遺憾なく発揮され、工事目的物の品質向上などに寄与していただけるよう優秀工事等の顕彰を進めてまいります。



北海道防衛局 優秀工事等顕彰状受賞者



帯広防衛支局 優秀工事等顕彰状受賞者

顕彰状受賞者

北海道防衛局

対象工事等	受賞者	技術者
余市(28補)隊庁舎耐震改修建築その他工事	赤石建設株式会社	—
北海道大演習場(28)道路整備工事	地崎道路株式会社北海道支店	監理技術者 大塚 貴広
松前(28)法面整備工事	株式会社森川組	—
千歳外(27)燃料施設改修等機械その他工事	株式会社城口研究所札幌支店	監理技術者 長谷川 徹
北海道大演習場(28)道路整備基本検討	パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社	管理技術者 市東 哲也

帯広防衛支局

対象工事等	受賞者	技術者
矢臼別(29)訓練場整備工事	松尾建設工業株式会社	現場代理人 三浦 友則

❖ 北海道防衛局幹部紹介(8月3日付け)

この度、北海道防衛局長を拝命いたしました高木です。
 沖縄防衛局での勤務を経て、本年8月3日付けで着任いたしました。
 北海道での勤務は初めてですが、当地で仕事ができることを大変うれしく思っております。

北海道防衛局は、道内に所在する防衛施設を安定的かつ円滑に運用するため、その管理、整備や周辺対策事業等の諸施策を行うとともに、防衛行政を進める上での地方の拠点としての役割を担っています。

北海道には、わが国最大の演習場である矢臼別演習場を始めとして、わが国の防衛力と日米安全保障体制を支えるための重要な防衛施設が数多く所在しております。これらの防衛施設を安定的に使用するためには、周辺地域の地方公共団体や住民の皆様のご理解とご協力が何よりも大切なことであると考えており、防衛省・自衛隊の役割や活動についても、丁寧な説明を心がけてまいります。

私も、北海道防衛局職員と共に、微力ではありますが力を尽くしてまいりますので、引き続き、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。



❖ 北海道防衛局長 高木 健司



平成30年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	待遇・その他
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の男女 ※1、2	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。	合格発表日は、試験日にお知らせします。	所要の教育を経て、3か月後に2等陸・海・空士に任用 陸上は1年9か月、海上・航空は2年9か月を1任期として任用（以降2年を1任期）
陸自 高等 工科 学校 生徒	(推薦) 男子で中卒（見込含）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者 ※1	11月 1日（木） ～ 11月30日（金）	31年 1月 5日（土） ～ 7日（月） ※ いずれか1日を指定されます。	31年1月17日（木）	修学年限3年 卒業後は陸士長 卒業後1年で3等陸曹
	(一般) 男子で中卒（見込含）17歳未満の者 ※1	11月 1日（木） ～ 31年 1月 7日（月）	1次 31年1月19日（土） 2次 31年2月1日（金）～4日（月）	1次 31年1月25日（金） 最終 31年2月15日（金）	
貸費学生	大学の理学部、工学部 ※3の3・4年次又は大学院（専門職大学院を除く。）修士課程在学（正規の就業年限が終わる年の4月1日現在で26歳未満（大学院修士課程在学者は28歳未満））			31年1月26日（土）	31年4月26日（金）

※1：平成30年度の募集人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。
 ※2：採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の者とする。ただし、32歳の者にあつては、採用予定月の3ヶ月後の末日現在、33歳に達していない者に限る。
 ※3：学部については、理学部、工学部に類する学部も応募資格に該当する場合があります。

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌 地方協力本部
011(631)5472



旭川 地方協力本部
0166(51)6060



函館 地方協力本部
0138(53)6241



帯広 地方協力本部
0155(23)5882

お知らせ

1. 課・室の場所が変わります。

・平成30年11月26日から「契約課」及び「入札室」が4階から2階北側に、「情報公開室」及び「会計監査官室」が2階から4階北側に、それぞれ場所が変わる予定です。

注) 来庁される際は、各フロアの執務室配置図をご確認ください。

変更後の執務室配置図

庁舎4階北側

他省庁	他省庁	第1会議室	第2会議室	事業監理課 (新設)	情報公開室 会計監査官室 (変更)
-----	-----	-------	-------	---------------	-------------------------

庁舎2階北側

契約課 (変更)	施設管理課	施設補償課	施設取得課	業務課	管理部長室
					入札室 (変更)

2. 新しく課が設置されます。

・平成30年12月1日付けで、調達部に「事業監理課」が新しく庁舎4階北側に設置されます。

・所掌業務は、自衛隊施設等建設工事の進捗管理及び検査等です。

